

2025 年 7 月 8 日
株式会社交通新聞社

女性活躍推進企業として「えるぼし」認定の最高位（3つ星）を取得

～「プラチナくるみん」認定^{*1}に続き、働きやすい職場づくりをさらに推進しています～

『J R時刻表』『旅の手帖』『交通新聞』などを発行する株式会社交通新聞社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：伊藤嘉道）は、女性活躍推進の取り組みにおける優良企業として、厚生労働省東京労働局長から「えるぼし」認定の最高位である「認定段階3」（3つ星）を受けました。

「えるぼし」は、厚生労働省が女性活躍推進法に基づき「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5項目の達成状況に応じて3段階で認定するものです。このたび当社は5つすべての項目で基準を満たしたため、3つ星の認定取得に至りました。

当社は2023年8月に子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定も取得しており、出版社・新聞社が「プラチナくるみん」と「えるぼし（3つ星）」双方の認定を取得することは、きわめて先進的な事例^{*2}となります。

当社では、中期経営計画「CHANGE & CHALLENGE」において「お客さま起点の価値創造」を掲げ、お客さま、社会、株主と並び「社員もステークホルダーの一員」と位置づけております。今後も引き続き、社員一人ひとりがそれぞれのライフスタイルを大切にしながらも能力を最大限に発揮・成長できる職場づくりを推進し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。



「えるぼし（3つ星）」のロゴマーク

【当社の主な取り組み】

○女性の継続就業とキャリア形成支援

- ・ 育児・介護・不妊治療と仕事の両立を支援する制度の整備・周知
- ・ 育児休業からの円滑な復職の支援（来社面談の設定、原則休職前の部署への復職）
- ・ 子どもの小学校卒業まで利用可能な短時間勤務制度
- ・ 管理職を対象とした、女性社員のキャリア形成を支援するための研修や育児休業・短時間勤務制度利用者等へ適切な人事評価を行うための研修の実施
- ・ 全従業員を対象とした、育児・介護・不妊治療・女性活躍等両立支援に関する研修の実施

○柔軟な働き方の推進

- ・ コアタイムのないフレックス制度
- ・ テレワーク制度
- ・ 年次有給休暇の計画取得制度や推奨日の設定による取得促進

○ダイバーシティ推進活動

- ・ 全社横断のダイバーシティプロジェクトによる、育児・介護・LGBT・障がい者雇用、世代間コミュニケーションなど、多様性に関する情報の発信

このような取り組みを通じ、2001 年*³以降女性の育児休業からの復職率は 100%を維持しています。なお、2021～2024 年度における男性の育児休業取得率は 66.7%です。

*1 「プラチナくるみん」認定とは、2015 年 4 月に施行された改正次世代育成支援対策推進法によって創設され、「子育てサポート企業」として「くるみん」認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業に与えられる制度です。

*2 厚生労働省がホームページ上に公表する企業のうち、日本標準産業分類（総務省）において大分類「情報通信業」、中分類「映像・音声・文字情報制作業」、小分類「出版業」「新聞業」に該当するとみられる企業で、「プラチナくるみん」と「えるぼし（3つ星）」双方の認定を有する企業は、2025 年 4 月末時点で当社のみです（当社調べ）。

*3 当社は 2001 年 12 月に株式会社交通新聞社と株式会社弘済出版社が合併し、現在の株式会社交通新聞社となりました。

以上